

G★U★M★B★O

JIMTOF2018(記者:藤田泰)

東京ビッグサイトで11月1日から6日まで開催されていた、JIMTOF2018(第29回 日本国際工作機械見本市)に向きました。このイベントは、シカゴ、フランクフルトと並んで、世界的に著名な工作機械の展示会です。

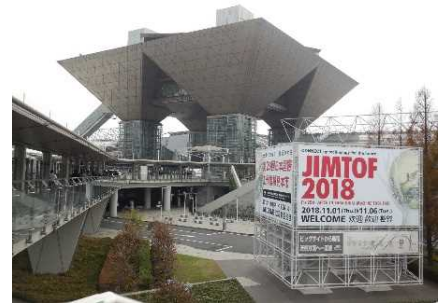
世界の工作機械生産額は、長い間、日本が第1位でした。しかし、いわゆるリーマンショックの時に、影響があまり及ばなかった中国が初めて第1位となり、それ以降はその地位を守っています。その次を、日本とドイツが競っています。ただし、製品の機種と技術レベルは、まだ隔たりがあります。

2010年以降の日本国内における生産額は、13年を除いて、好不況のボーダーラインである1兆円を、突破しています。好況が持続しているといえます。昨年、17年の受注額の38%は内需です。もっとも大きな受注先業種は、41%を占める一般機械ですが、単一の業種としては自動車の32%が最大です。62%に達する外需のうち、最大の受注先は34%を占める中国です。その次が、23%の米国です。なお、受注額の97%をNC工作機械が占めています。

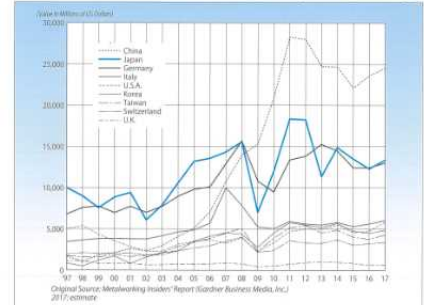
今回の傾向として、大手メーカーは、やはり世界的な潮流であるIoTや積層技術との融合を積極的に打ち出していました。その要因を、労働人口の減少、生産の統合化など、マーケティングに求めているのが印象的です。複合化は、さらに深化して、ある5軸MCは、積層素材、高精度加工、高周波焼入および研削までを含む製品でした。この1台で、精緻な三次元加工を要求される航空機部品の、素材から完成までのすべての工程を網羅してしまいます。

また、ロボットも積極的に使われていて、数社がAGVにロボットを搭載するシステムを展示していました。この方面が、当社の進出する分野となる可能性が高いと考えます。特に、エリア全体をAIにより統合して、自動運用するシステムが印象的でした。その一方で、職人好みのNCフライス盤を展示するメーカーも数社あり、うれしく思いました。

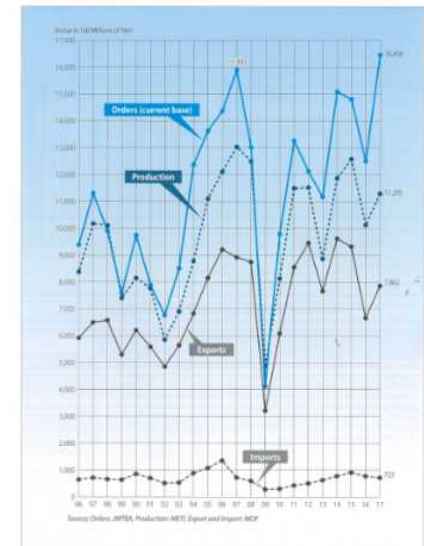
個人的には、ブース全体をサンダーバードの基地に見立てた、ある大手メーカーの展示が秀逸でした。スタッフは隊員のユニフォームを着用、1号~5号、倉庫も揃っていました。中小企業においては、出展費用の制約もありますが、多くの来場者に会社や技術の優位性訴求するには、このような楽しさも必要でしょう。わが社も、ぜひ、知恵を絞って臨みたいものです。



World Machine Tool Production (Metal Cutting + Metal Forming)



Machine Tool Demand and Supply in Japan



手相ってなんじゃろ〜？(記者:吉野)

今回も、引き続き手相を見ていきます。

今回は知能線です。知能線の傾き(弧の描き方)からは、価値観や美意識、思考パターンが読み取れます。横一直線に走る線は、現実主義。手首近くに下降する線は、理想主義。生命線の重なるぐらいにある線。

①知能線が標準的な傾き(緩やかにカーブしている)

客観的でバランスの取れた考えができる。失敗しそうなことは回避するため、冒険や挑戦は少ない。平穩さを好み、不正やハラスメントを指摘できず見過ごしがち。

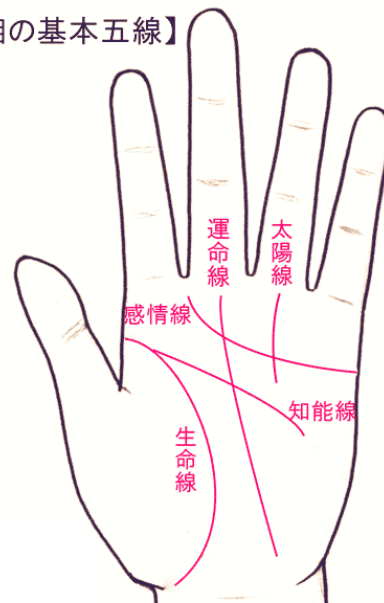
②知能線がまっすぐ横に走る

現実的に物事をとらえ、実行していく人。ものごとを曖昧にしない。金銭感覚に優れたタイプ。対人交渉力がある。結果や実績でシビアに人を判断する面がある。

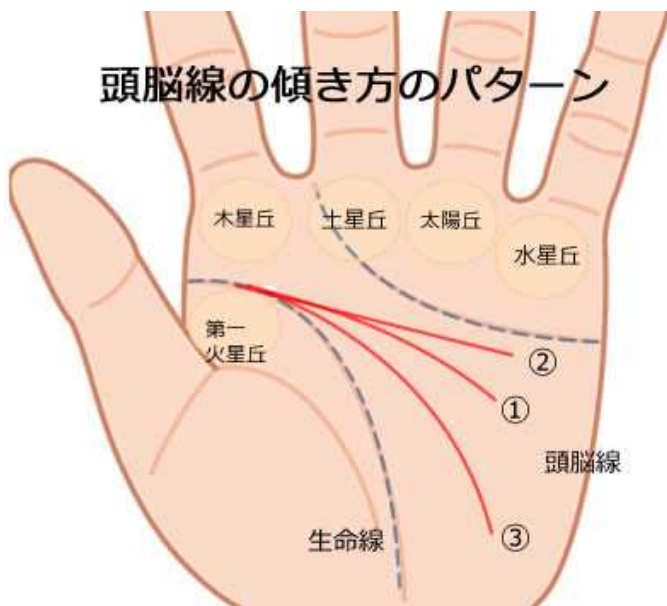
③知能線が手首の方に下がっている

理想主義でロマンチスト。インスピレーションに秀でたタイプ。タイムリミットつきの実務作業や結果をせかされることが苦手。

【手相の基本五線】



頭脳線の傾き方のパターン



気になった事(記者:杉浦)

暖かったり、寒く感じたりと、暖冬になるのでしょうか？ 11月も終わろうとしている今日この頃、皆様如何お過ごしでしょうか？ 風疹大流行、名前は聞いたことあるけどよくわからないので調べてみました。風疹は、主に発熱、発疹、リンパ節腫脹(腫れ上がる)の症状がでるウイルス性の病気です。しかし、臨床症のみで風疹と診断するには困難な病気でもあります。妊娠 20 週頃までの妊婦が風疹ウイルスに感染すると、出生児が先天性風疹症候群を発症する可能性があることでも知られています。

日本でも過去に1976年、1982年、1987年、1992年に流行があり、定期予防接種の対象になってからは大規模な流行はなくなりましたが、2004年に約4万人の流行があり、10人の先天性風疹症候群の発症の報告があります。

先天性風疹症候群の症状は、白内障、先天性心疾患、難聴が多くあり、その他に先天性緑内障、色素性網膜症、紫斑、脾腫、小頭症、精神発達遅滞、髄膜炎、骨髄脳症、骨のX線透過性所見、黄疸なども発症する可能性があります。

近年、風疹の発症者数の増加が報告されており、予防接種を受けるように報道もされています。特に20代、30代、40代、50代は全体の10%~20%が免疫を持っていないようです。

それでは皆様、体調にお気を付けて、ごきげんよう〜^^/

発疹→

